

# センターだより 2月号

「立春」&「節分」の季節となりました。今年も毎年恒例の体験学習を行ない、「実体験を通して、ことばや社会性の育ち等」を支援していきたいと思ひます。

インフルエンザや風邪が流行っている時期ですが、「休養・睡眠・栄養をしっかりとること」を心掛け、元気に体験学習に参加してくださいね。

## ◆体験学習と幼児期の発達

1. 「体を使って体験することや好きな大人や子どもと一緒に遊ぶこと」を通して、具体的なことばの理解や運動の仕方など、発達に必要なことを覚えていくことができます。
2. 大人とのマンツーマンの関わりを通して、少しずつ周囲の友だちに関心を持つようになり、集団参加の仕方を身に付けていくことができます。
3. 自分に合った遊びや体験学習をしながら、「できること」「分かること」「表現すること」等が育ちます。
4. グループで遊ぶ中で、「友だちと、一緒にのこをしたい」「だから自分も、がんばろう」といった友だち関係や協調性が育ちます。

## ◆体験学習について

2月、3月は、クッキングや電車に乗るなどの体験学習をグループで行っていきます。

\* 普段の支援とは違った体験を、みんなで楽しみ、体験の場を広げていきましょう。

\* センターの外（公共の場）での体験をみんなでしていきます。

\* 親子または友だち同士のコミュニケーションが楽しめるようにしましょう。

\* センターでの電車やクッキングの様子を参考にしながら、家でお手伝いができるようにしましょう。

※未満児さんグループは、親子で電車や簡単クッキングをする予定です。

\* 「親子で体験したこと」は、「親子でコミュニケーションを楽しむ体験」につながっていきます。

\* みんなで楽しく新しい体験に挑戦していきましょう。



## ～ 2月の主な行事～

5日（水）	親子遊び
12日（水）	放課後等デイサービス
19日（水）	親子遊び 10時集合 ・お弁当タイム ・クッキングタイム
26日（水）	放課後等デイサービス

## ☆☆修了式のお知らせ☆☆

**3月27日（金）10時～11時**

小さい頃から、頑張って通ってくれた21人の年長さんが、修了します。いっしょに成長した姿を、みんなで見守り、送り出したいと思ひます。

**\* 1年の締めくくりの日です。在籍児も参加してください。**

## ～ 契約更新手続きのお知らせ & お願ひ～

1月から3月にかけて、契約更新手続きの対象が多くなっています。それに伴い、早めに更新手続きを行い、新年度の通所に備えたいと思ひます。ご協力、お願ひします。

### \* 市・福祉課の聴き取り調査

- ・センターでの聴き取り調査日については、担任よりお知らせします。
- ・当センターでの聴き取り調査日に、参加できない場合は、市役所での聴き取り調査となります。
- ・市役所に直接行かれる場合は、担任までお知らせください。（福祉課に連絡します。）
- ・印鑑の用意と、保護者（世帯主）と子どものマイナンバーが分かるようにしておいて下さい。

### ☆☆☆ 歯科検診 ① ♪♪♪

瑞浪市保健センターの歯科指導事業の一貫として、歯科検診（成瀬歯科医院、成瀬先生）をして頂きました。

参加した子ども全員、「虫歯なしの真っ白な歯」との結果。

「とても丁寧に手入れされている。」と、先生からお褒めのことばをいただきました。

大泣きはするけれど、体を動かす等の抵抗をすることなく、どの子どもお母さんの膝の上で大人しくしている姿に、「健診を受けている。」「頑張ろう」という子ども達の決意を感じました。子ども達の頑張りや決意に拍手です。 \ (^o^)/

### ☆☆☆ 親子遊び & お弁当タイム ♪♪♪

1月22日、親子遊びを行ないました。挨拶・シール貼り、体操の後は、みんなで仲良くトイレタイム。友だちやお母さん達と一緒にだと、どの子どももスムーズに移動できるようです。

その後は2階プレールームでサイバーホイールやトランポリン等、それぞれ好きな遊びを、親子でじっくり楽しみました。

思いっきり体を動かした後は、お待ちかねのお弁当タイム。

お弁当の中味は、「おにぎり、から揚げ、団子、魚」等、さすが「9マス弁当」というだけあって、子どもの好きなメニューが一杯でした。団子がお気に入りだったちーちゃん。団子をギュッと握り、一口パクリ・・・またパクリ。とても大切に食べていました。団子がとても大きく見えたのは、気のせいかな？

小さな手で団子を握り締める姿、可愛かったです。( ^ - ^ )



## ~ 就学・就園に向けて ...

子ども達は、家庭生活や園の集団生活に、一生懸命に適応しようと頑張っています。今後も更に安心して生活できたり、「自分で頑張ってみよう」という意欲が育つように、①~⑤のような取り組みを、心掛けましょう。

### ① 自分でできる事を増やす、家のお手伝いをする。(センター：3月にはクッキング学習をします。)

子どもは、家族の中で「できた事」や「お手伝いした事」を認められ、褒められる事で自信をつけていきます。「ことばが遅いから」とか「〇〇できないから」と、つつい大人が何でもやってあげている場合、子どもは家庭の中で「居場所がない・・・」というような感覚を持つ事もあるようです。

ゴミを捨てる、少しだけ片づけるなど、どんな事でもいいです。お手伝いをしてもらい、たくさん褒めてあげてください。家族の中で認められて自信を持つ事が、これからの集団生活を送る上での精神的支えになります。

### ② 友達との関わりを楽しむ、仲間と生活する決まりを覚える。(センター：グループ活動を行います。)

人の話を聴く事や人と一緒に行動する事が苦手、慣れていない子どもも多いです。家族や友だちと一緒に遊ぶ事から、人に合わせる事やルールを守る事も覚えて行きましょう。

少し我慢をする事や、家族や友だちにどのように話しかければいいかなど、具体的な場面で学習できるようにして行きましょう。また家族や友だちと一緒に事がしたいという気持ちや、学習意欲を更に高めてくれると思います。

### ③ 社会資源に触れる。(センター：電車体験や買い物学習を行ないます。)

買い物や公園など、子どもと町に出て、困った経験はありませんか？

子どもは場所を選ばず、思いのままに行動したり、感情を表現する事があります。小さい頃から、公共の場面に少しずつ慣れ、「ここでは座っている」「静かにしていなくてはいけない」といった経験が必要です。

また「大好きなお父さん、お母さん、友だちと一緒にだから、困らせないようにしよう」といった気持ちをもってもらう事も大切です。(日頃から親子・友だち同士のコミュニケーションが、十分にとれるようにしましょう。)

### ④ プレッシャーを掛けないようにする。

「もうすぐ学校だから」「幼稚園に行くなら、〇〇ができないと」等のことば掛けをしないように心掛けましょう。

お父さんやお母さんの不安や焦りを、子どもは敏感に感じ取り、同じように不安な気持ちになります。

いつもの生活ができるように、自然な態度で接していきましょう。

### ⑤ 子どものできる事や分かるようになった事、頑張った事を認める。

「〇〇ができるようになってほしい」等と、大人のイメージや願いが強かったり、「〇〇ちゃんは、△△ができるのに」等と友だちと比べていると、子どもが頑張った事に気が付きにくい事もあります。

子どもは、自分が頑張っている姿を認めてもらう事で、「また頑張ろう」「〇〇をしてみよう」等の学習意欲が育ちます。普段の支援や体験学習を通して、子どもが頑張った事を、たくさん見つけていきましょう。

